

「2月定例議会」

2020年2月19日より
3月25日まで



2月定例議会
QRコード

- 令和2年度一般会計予算案
- 他83件を審議

◎令和2年度 一般会計予算編成について

令和2年度一般会計予算資料

| 区分 | % | 予算見込額 (単位:千円) | 伸び率 |
|------|---|----------------------------------|------------------|
| 一般会計 | | (2,294,659,000) 2,572,245,000 | (100.6) 102.4 |
| 特別会計 | | 1,355,344,018 | 101.2 |
| 企業会計 | | 254,639,799 | 81.8 |
| 合計 | | 4,182,228,817 | 100.4 |

注:()は、地方消費税清算金支出を省いた計数。

「農林水産委員会」

2月定例議会

◎一般質問 質問者 朝日 将貴

【問】

鳥獣被害防止総合対策事業補助金について、特に鳥の被害に絞って伺います。

平成30年度の県内鳥獣被害状況は被害面積356ha、被害量1378t、被害金額2億3288万円となっております。大変大きな損害が出ていることがわかります。現在、県も国の補助金を活用し、対応しているところであり、しかしながら鳥獣被害対策は敷地面積が大きくなればなるだけ困難を極めます。従来のようにネットやテグスを張る対応では、大規模農家やオペレーターが対策を講じることは難しかったと考えます。しかしながら大規模圃場に対応した新技術、例えばセンサーを利用したドローン技術での対策もできると伺いました。そこでお尋ねします。

鳥獣被害対策補助金の現在の対応状況と課題は。また新しい技術への研究や周知などの対応も併せて伺います。

【答】野生イノシシ対策室長

国の事業である鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、市町村が行う鳥類の捕獲に対して、1羽当たり200円を捕獲者に交付。今年度は約185万円で、過去3年の平均補助額は約220万円。

また、2017年度には、カラスの大型捕獲檻の導入に約27万円を助成。鳥の被害軽減においては、各圃場に適した効果的な侵入防止、追い払い技術の開発、普及が課題。実用化できる技術、例えばテグスを利用した侵入防止技術では、果樹園をモデル圃場として設置し、関係者と情報共有しながら効果を確認して、普及に努めている。

また、新しい技術については、被害額が最も多いカラスの対策として、圃場への侵入を防止するために、カラスが嫌がる音や電気柵、ドローンを利用した追い払い技術の開発を進めている。

【問】

私の地元では金魚養殖が盛んであり、鳥獣被害に悩まされているが、金魚養殖の鳥獣被害対策の現状を伺います。

【答】水産課長

食害については、2017年、水産試験場と金魚養殖団体の弥富金魚漁業協同組合が、共同で食害実態調査を実施。その調査によると、農業と同じように、サギをはじめとした鳥類、小動物などの食害が発生しており、網やテグスが張れていない養殖池で、食害が顕著である。

その後、弥富市の助成などを受け、養殖池にも網やテグスを張る金魚養殖者が増えたと聞いているが、鳥類は側面から入るといふ実態もあり、侵入を防ぐテグスの張り方等の指導を、水産試験場が現地へ行き実施している。

今後も実態を踏まえ、奈良県等を参考に引き続ききめ細やかな対策が行えるよう、研究会等を通じて指導していきたい。なお、鳥獣被害対策の補助金については、国の交付金を活用した事業だが、「農業と同じように金魚養殖池にもテグスを張るなどの食害防除について対象となるか」ということを国の農村振興局に確認したが、この事業は農作物被害を対象にしており、金魚養殖池については、対象とならないという回答を受けている。

【要望】

金魚養殖に対する補助内容を農業と同等になるよう国への訴えをしなければならぬと考えます。県にも是非ご尽力賜りますようお願い致します。

地域高規格道路の料金体系が検討されます。

将来的には渋滞緩和の時差式料金体系も検討。



Aルート < Bルート Aルート = Bルート
混雑する時間帯は回避ルートを安く。 平常時間帯は同一料金。



どのルートも同一料金
● 名二環迂回
● 都心経由
● 名二環・伊勢湾岸迂回

名古屋第二環状自動車道の開通(名古屋西JCT⇄飛鳥JCT)令和2年度中開通予定にあわせ、地域高規格道路道路料金の「経路によらない同一料金導入」検討。

中部国際空港へのアクセス改善

「西知多道路」2027年度開通予定

(地域高規格道路)

愛知県東海市の伊勢湾岸自動車道、名古屋高速4号東海線の【東海JCT(ジャンクション)】から、常滑市の中部国際空港に接続している知多横断道路【常滑IC(インターチェンジ)】に接続。

便利!! 大府ICで一般道に降りなくて済みます。

新年度重点政策13の柱

- ・ジブリパークを2020年に実現
- ・ステーションAIPプロジェクトの推進
- ・「リニア大交流圏」の形成
- ・産業首都あいち
- ・農林水産業の振興
- ・「人が輝くあいち」
- ・観光あいち・魅力発信
- ・文化・スポーツの振興
- ・あいちのグローバル展開
- ・安全・安心なあいち
- ・環境首都あいちの推進
- ・東三河の振興
- ・地方分権・行財政改革の推進

巻末はジブリパークにスポットを当てました。

「Aichi」愛知「総合経済対策」に掲げた施策を盛り込み、13の柱を重点とし予算案となった。

【愛知県独自の総合経済対策】

【歳入】

企業収益の減速に加え、法人県民税の税率引き下げの影響により、法人二税において1割を超える減収が見込まれる。また、地方消費税は税率引き上げによる影響が本格的に現れるものの、税収に連動する税交付金等の支出が増加するため、実質収入としての県税収は大幅な減少が見込まれる。

【歳出】

医療・介護などの扶助費をはじめとした、義務的経費が引き続き増加し、2020年度当初予算の編成にあたっては、依然として多額の収支不足が見込まれた。